

エコアクション21 環境経営レポート



対象期間 【2023年7月～2024年6月】

作成日 2025年2月14日

目次

1. 組織の概要	P.1
2. 実施体制	P.2
3. 環境経営方針	P.3
4. 環境経営目標とその実績	P.4
5. 環境経営計画	P.5
6. 環境関連法規の遵守状況	P.6
7. 取組内容	P.7 P.8
8. 代表者による全体の評価と見直し	P.9

1. 組織の概要

- 1.事業者名 株式会社トオヤリペアテック
- 2.代表者氏名 遠矢 直久
- 3.所在地 本 社 静岡県浜松市中央区伊左地町3953番地
豊橋支店 愛知県豊橋市小島町字蛇ノ髭28番地の478
- 4.事業活動 建設業(土木、とび・土工),建設機械の販売・修理業
- 5.従業員数 31名
- 6.環境管理責任者 山口 太郎
- 7.連絡先 TEL 053-482-1008
FAX 053-482-1009
E-mail trt-somu@tooya.co.jp
HP https://www.tooya.co.jp
- 8.建設業許可等 国土交通大臣許可 第12080号
建設荷役車両特定自主検査 登録検査業者 第1277号
許可票
(土木、管、舗装、とび・土工、水道施設、鋼構造物、しゅんせつ、石、塗装)
産業廃棄物収集運搬許可番号 (自社運搬のみ)
静岡県 02201031158
愛知県 09600031158

9.事業規模

対象期間 ①設 立 昭和59年 8月
②事業規模

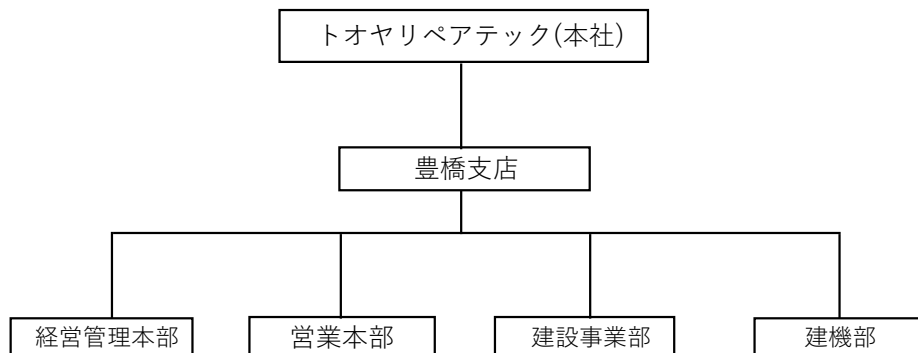
作成日 2025年3月18日

活動規模	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	694	574	834	792	1000	653
従業員	人	20	21	22	31	31	31
事務所床面積	m ²	180	180	180	180	180	180
倉庫床面積	m ²	207	207	207	207	207	207
資機材置場	m ²	2045	2045	2045	2045	2045	2045

10.認証・登録の対象範囲

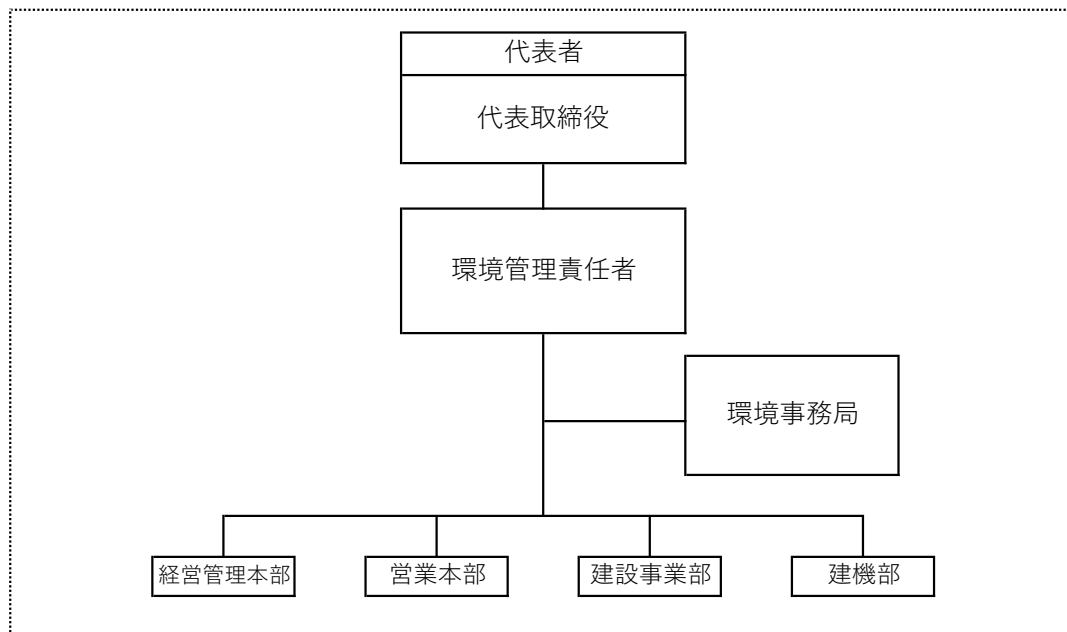
活 動 : 全事業活動

対象組織 : 本社、豊橋支店(経営管理本部、営業本部、建設事業本部、建機部)



2. 実施体制

対象範囲：全組織・全活動



<環境管理組織における機能>

・経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境方針の作成と社員への周知
- ③ 全体の評価と見直し
- ④ 実施体制の構築

・環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境目標及び環境計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告

・EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 活動計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 法規制最新版管理
- ⑥ 文書・記録管理

・各部門

- ① 環境計画の実施
- ② 月別部門データの集計
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

・その他従業員

- ① 決められたことを守る
- ② エコアクションの活動を実施する

3. 環境経営方針

・企業理念

弊社はこれまでも豊富な経験や実績、独自の技術力を通して社会に貢献してきました。これからも先駆者たちの想いが詰まった構造物を、私たちの技術力で後世に引き継ぎ、当たり前の日常が当たり前に送れるように、心血を注いで丁寧に精一杯仕事に向き合います。

・経営における課題とチャンス

戦後の高度成長で急激に整備された社会基盤。現在、その社会基盤の老朽化が進んでいる上、少子高齢化や環境への配慮、景観の配慮が求められている。このような厳しい社会情勢の中、公共施設の維持修繕や長寿命化へと社会情勢がシフトしていく中、あらゆるニーズに対応することで企業力を高める事ができる。

・環境への取り組みの重点分野

当社が事業活動を行うことによって生じる環境への影響について、下記の視点から環境経営の目標を設定し活動する。環境経営目標の改善案は常に模索し、定期的に見直しを行い、長期的に活動できるようにする。

①環境に配慮した材料の選定、施工方法の提案

②グリーン購入法適合商品を積極的に取り入れる。

③ペーパーレス化活動の実施

④二酸化炭素排出量の削減

⑤水の使用量の削減

⑥廃棄物の排出量の削減（再資源化率90%以上）を目指す。

⑦環境関連法規、協定を遵守する。

⑧環境経営方針は全従業員に周知し、社外へ公開する。

制定日 2014年 10月 1日

改定日 2022年 3月14日

株式会社トオヤリペアテック
代表取締役 遠矢直久

4. 環境経営目標とその実績

1) 環境目標と達成状況評価 注) 二酸化炭素排出係数は、調整後排出係数の0.426kg-CO₂/kWhを使用

項目		単位	基準年度 2020年 実績	運用期間目標/実績(2023 年7月～2024年6月)		2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標	目標比率 (%)	運用期間 目標達成 状況
				目標	実績					
環境 配慮	環境に配慮した 工事	-	実施できた	工事担当者全 員に環境に優 しい創意工夫 を積極的に実 施する	実施できた	工事担当者全員に環境に優しい創意 工夫を積極的に実施する				○
	ペーパーレス化 活動	-	配慮できた	社員一人一人 が意識をもっ て実施にあた る	配慮できた	社員一人一人が意識をもって実施に あたる。				○
水 削 減	水道使用量	m ³	207	194.9	220.0	192.9	191.0	189.1	86.9	×
廃 棄 物 削 減	一般廃棄物	kg	897	844.5	841.0	836.0	827.7	819.4	99.8	○
	産業廃棄物再 資源化率	%	96.0	再資源化 90%以上	95.4	再資源化率90%以上			93.0	○
二 酸 化 炭 素 削 減	CO2排出量	kg-CO2	147,650.0	139,009.54	142,438.69	137,619.45	136,243.25	134,880.82	93.8	×
	購入電力	k Wh	21,798.00	20,522.37	22,737.00	20,317.14	20,113.97	19,912.83	124.0	×
	ガソリン使用量	リットル	22,658.19	21,332.23	23,550.96	21,118.91	20,907.72	20,698.64	105.2	×
	軽油使用量	リットル	32,932.69	31,005.47	29,957.14	30,695.42	30,388.46	30,084.58	84.2	○
	灯油使用量	リットル	524.1	493.42	274.80	488.49	483.60	478.77	100.9	○

基準年度を2020年度とする。○：できた △：もう少し(≦+10%) ×：出来なかった(+10%<)

2) 環境目標の達成状況の総合評価(管理責任者)

活動項目	是正処置または予防措置、活動状況	
環境配慮	評 価	排ガス規制型、低騒音型の建設機械を使用した。
	是正処置	
水資源削減	評 価	目標数値を達成することができなかった。節水に向けてさらに取り組みを徹底していき たい。
	是正処置	目標達成を図るために、全体会議において従業員の意識向上を引き続き図る。
廃棄物削減	評 価	産業廃棄物に関しては、努めて再資源化を図った。
	是正処置	
二酸化炭素排出量	評 価	購入電力量並びにガソリン使用量が目標数値より上回ってしまった。要因は、気温変動 のため、冷暖房器具の使用が考えられる。また、従業員と現場数増加に伴い、社有車の 使用頻度が増加したため、会社が負担するガソリン使用量が増加したものと考えられ る。また、遠方の現場が多いことも要因に挙げられる。
	是正処置	毎月の全体会議で具体的な数値を掲げ、二酸化炭素排出量削減について従業員一人一人 の意識を高める。また、燃料費の価格高騰に伴い、車両をエコカーに代える検討を行っ ている。次年度については目標数値の変更を視野に入れている。

5.環境経営計画

対象 作成日	主な活動手段		実施責任者	運用期間実施計画 (2023年7月～2024年6月)													評価	次年度の活動
				2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			
	環境 配慮	環境配慮工事	建設事業部														○	継続
裏紙使用の徹底		環境責任者														○	継続	
事務用品購入時の環境配慮		環境責任者														○	継続	
グリーン購入の周知		環境責任者														○	継続	
骨材等のグリーン購入		建設事業部														○	継続	
ペーパーレス化活動		環境事務局														○	継続	
水 使用 削減	2か月ごとのデータの管理	環境事務局														○	継続	
	節水の社員教育	環境責任者													毎月1回、全体会議内で	○	継続	
	節水の呼びかけ	環境責任者													毎月1回、全体会議内で	△	継続	
廃 棄 物 の リ サイ クル	毎月のデータ管理	環境事務局														○	継続	
	廃棄物抑制の社員教育	環境事務局													毎月1回、全体会議内で	○	継続	
	リサイクル業者の再検討	環境事務局													事業年度末に	○	継続	
	裏紙使用の推奨	環境事務局														○	継続	
	分別収集の推奨	建設事業部														○	継続	
二 酸 化 炭 素 の 削 減	毎月のデータの把握	環境事務局														○	継続	
	省エネの社員教育	環境事務局													毎月1回、全体会議内で	○	継続	
	エコドライブの教育周知	環境責任者													毎月1回、全体会議内で	○	継続	
	照明の適正化	環境事務局														○	継続	
	エアコンの温度設定	環境責任者													冷房時、27℃程度 暖房時、22℃程度に設定	○	継続	
	エアコン使用の最適化	環境責任者														○	継続	

○：できた △：もう少し ×：出来なかった

全体の取り組みの総合評価(管理責任者)

・ 成果は着実に上がっている。分別収集や節水は、継続して取り組んでいきたいと考えている。

・ 今年度も仕事の受注量が増えている関係で、事務所において現場作業後の事務処理業務が慢性化している。

来期は、業務の効率化や軽減化を図り、残業時間を極力抑え購入電力量を少しでも減らしていけるよう組織をあげて取り組んでいきたいと考えている。

6. 環境関連法規の遵守状況

令和7年2月7日

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

山口 太郎

法規制等の名称	関係条項	適応内容・遵守事項	備考	遵守状況	確認日
産業廃棄物処理法	第12条第5項	・産業廃棄物の委託処理	関連業者との委託契約締結	○	R7.2.7
	第12条の3第2項	・マニフェストの管理・保管	A票の5年間	○	R7.2.7
	第12条の3第6項	・マニフェストの管理・保管	B2、D、E票の5年間	○	R7.2.7
	第12条の3第7項	・マニフェスト交付状況の報告	5/31日に報告書提出	○	R7.2.7
	第16条	・不法投棄の禁止		○	R7.2.7
リサイクル法	第3条	・発生抑制（施工方法、資材選択）		○	R7.2.7
		・再利用、再生利用、再資源化努力		○	R7.2.7
建設リサイクル法	第5条	・建設業者の責務	分別の励行、リサイクルの推進	○	R7.2.7
	第9条	・分別解体等の実施	建設業者の責務	○	R7.2.7
	第16条	・再資源化等の実施		○	R7.2.7
建設業法	第3条	・許可の申請		○	R7.2.7
	第25条	・技術者の設置		○	R7.2.7
フロン排出抑制法	第16条	①第1種特定製品の簡易点検 (3か月に1回以上) ②空調付き建設機械の点検 (3か月に1回以上)	①当社はルームエアコン ②2021.9エアコン付き建機 は廃棄した。	○	R7.2.7
浄化槽法	第10条	・清掃	年1回の点検	○	R6.11.18
	第11条	・法定点検	年1回の点検	○	R6.8.22
騒音規制法	第14条	・特定建設作業の実施の届出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	バックホウ(原動機定格出力 80kw以上)を使用する作業	○	R7.2.7
振動規制法	第14条	・特定建設作業の実施の届出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下		○	R7.2.7
小型家電リサイクル法	第6条	・指定業者への適切な引き渡し (廃棄時)	全従業員で徹底	○	R7.2.7

・違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

7.取組内容

○節電

○節水の呼びかけ掲示

・エアコンの推奨温度の掲示

夏季…27℃程度

冬季…22℃程度



・裏紙の再利用

・古紙、段ボールは地域の資源回収へ



・FAXのペーパーレス化 PDFデータで受信し必要な物のみ印刷する

・グリーン商品の購入



・エコカップの回収



・低騒音型、排出ガス対策型 機器の使用



7.取組内容

・水澄まいるの使用

※水澄まいるとは…

無機系の凝集剤。汚濁水に投入、攪拌するだけで中和しながら水をきれいに
する「水環境保全製品」



・コア削孔の際に発生した汚水に水
澄まいるを投入し攪拌する



使用前は…



・目標pH6～7(水道水と同等)に
なったら沈殿物はコンガラとして処
分、浮水はコア削孔水等として再利
用する。

8.代表者による全体の評価と見直し

報告	作成
山口	山口

令和7年2月14日

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	☒	記録・文書として作成しました。
	2	環境目標及び目標達成状況	☒	電気購入量・ガソリン使用量は未達成。
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	☒	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	特に問題ありませんでした。
	6	その他 ()	☐	

環境コミュニケーション

現場単位の会議の中で、環境目標や活動計画を確認する習慣が定着している。環境に対する意識が高まり、実践内容の質も向上している。具体的な実践内容や成果を把握するために、現場従事者からの意見を聴収する機会を継続して設けていきたい。事務局としても課題に対して具体的な施策を提案し続けていきたいと考えている。また、環境目標の数値において、特にガソリン使用量の見直しが課題であるとする。

2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	継続して環境活動に対して事務局と従業員の対話の機会を設けているため、各項目における目標数値達成に向けた取り組みは習慣化されている。		
	今期の取り組みとして、総排水量と購入電力、ガソリン使用量の目標数値を達成できず、二酸化炭素総排出量を目標数値に抑えることができなかった。要因としては、予測不能な異常気象と仕事の受注量の増加が考えられる。また、仕事の効率化や軽減化を図るために、現場監理に従事している者に対して社有車を貸与する取り組みを継続している。そのため、事業全体のガソリン使用量の増加につながったことも一要因であるとする。		
	そこで、仕事の受注の見直しを図り、極力近い現場での作業が行えるように組織をあげて改革していきたいと考えている。また、より一層の節電や節水などの取り組みに力を注ぐと共に、従業員の健康や安全を最優先に考えることを忘れず環境活動に取り組んでいきたいと考えている。		
	令和7年2月14日 株式会社トオヤリペアテック 代表取締役 遠矢直久		
	見直し項目		変更の必要性
	1	環境経営方針	有 ☐ 無 ☒
	2	環境経営目標	☒ 有 ☐ 無
	3	環境経営計画	有 ☐ 無 ☒
	4	実施体制	有 ☐ 無 ☒
	5	その他のシステム要素	有 ☐ 無 ☒
	6	その他 (外部への対応)	有 ☐ 無 ☒
			「有」の場合の指示事項等

来期は本社の新社屋が完成する。拠点が増えることから目標数値の再設定が必要。